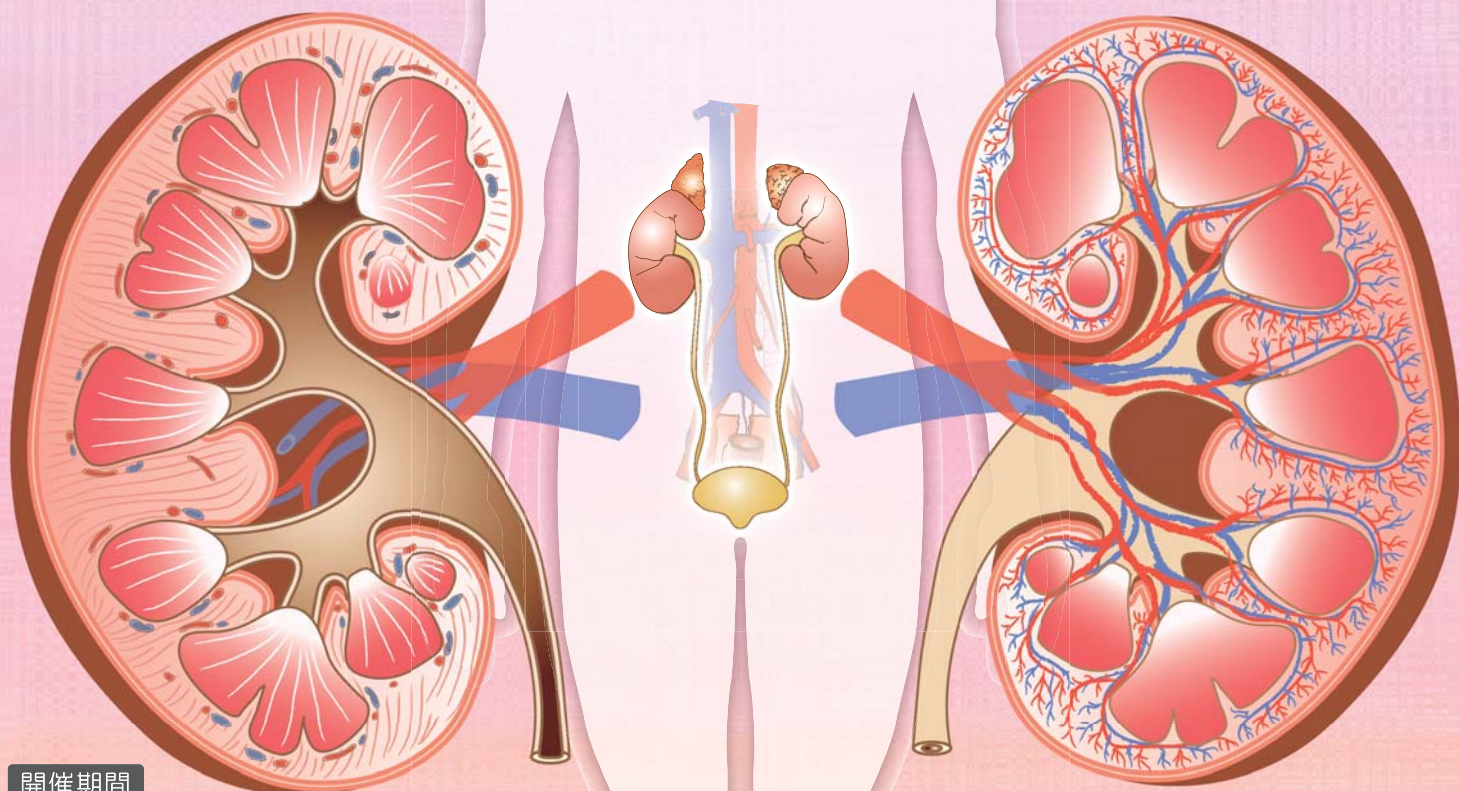


入場
無料

縁の下で身体を 支える腎臓

— 生体恒常性の不思議 —



開催期間

2016年

11月25日(金) ~ 2017年

2017年

開館時間 10:00 ~ 17:00

毎週月曜日 ※月曜日が祝日の場合は開館

常設展

お昼休み 12:00 ~ 13:00

年末年始 12月28日 ~ 2017年1月4日

センター試験 2017年1月14日、15日

第2次学力試験 2017年2月25日、26日

最終入場 16:30

休館日

近代から現代への医学の歩み

医学部と附属病院の150年

問合せ先 「健康と医学の博物館」事務室

住所

〒113-0033

東京都文京区本郷7-3-1 東京大学本郷キャンパス内
医学部総合中央館(医学図書館)地下1階

- TEL : 03-5841-0813 (開館時間内)
- E-mail : mhm@m.u-tokyo.ac.jp
- Web : <http://mhm.m.u-tokyo.ac.jp/>



健康と医学の博物館
Museum of Health and Medicine



当館は、平成23年1月20日の開館より約6年が経過し、10万人を超える来館者を迎えることができました。日頃のご支援・ご協力に、改めて感謝を申し上げます。

第11回企画展では、「腎臓」を取り上げます。

「特に大切なこと・ところ」をさす言葉として、「肝腎要」という言葉があり、「腎」という漢字が用いられます。このことは、腎臓がヒトにとって重要な臓器であることと関係がありそうです。

また、過去の知見を調べると、腎臓の存在や機能について、いろいろな記述を確認できます。東洋医学では、「五臓六腑」の中に「腎臓」が含まれます。古き時代より、「腎臓」は注目されていたようです。

本企画展では、腎臓の基本的な構造・機能から、その疾患や医療、そして東京大学で行われている腎臓の研究・医療まで紹介します。その中で、ヒトにとって大切な「腎臓」という臓器について、理解を深めていただければ幸いです。

Zone1

腎臓とは？

Zone2

腎臓の病気

Zone3

腎臓の医療

Zone4

東大の取組み

常設展

近代から現代への医学の歩み——医学部と附属病院の150年——

150余年にわたる医学部・医学部附属病院の業績・歴史の中で、特筆されるものを中心に紹介します。

初期の時代にドイツ人教師によってもたらされた医学書、医療器具を展示し、人工癌などの世界的な業績を紹介します。

東京大学医学部総合中央館（医学図書館）B1F

健康と医学の博物館



医学部総合中央館（医学図書館）B1F
健康と医学の博物館

博物館入口は、バス通り沿いです。
医学図書館の入口とは異なります。

本郷三丁目駅（地下鉄丸ノ内線）…………… 徒歩 8 分
本郷三丁目駅（地下鉄大江戸線）…………… 徒歩 6 分

湯島駅又は根津駅（地下鉄千代田線）…… 徒歩 8 分
東大前駅（地下鉄南北線）…………… 徒歩 10 分